



こしみず

こしみず議会だより

議会だより

NO.216



第2回 町議会定例会

今月号では、4月号に引き続き、3月定例会について、町長の町政執行方針と平成30年度各会計予算案についての総括質疑の内容をお知らせいたします。

住民自治の促進について

総括質疑

今現在開催されている「じきいき百歳体操」など、自治会単位での取り組みを拡大し、過疎化や少子高齢化に対応していく環境づくりを進めていきたいと考えています。

小清水町の魅力を発信するとともに、一人でも多く本町に定住いただけるよう、民間賃貸住宅建設促進事業など、住宅環境の向上を含め努力をしてきました。

移住・定住施策について

住・定住の確保につながる施策の具体的な考え方についてお聞きします。

先人たちが築いた本町を未来につなげることが一番大事なことだと思いますが、町長の基本理念にある、実践的な住民自治の促進とは具体的にどのように推進していくことなのかお聞きします。

答① 久保 弘志 町長

開町100年という大きな節目を迎えて、今後さらに未来につながるまちづくりをしっかりと続けていくことが私の使命だと認識しておりますので、ご理解いただきたいと思います。

例えば、災害時等の対応のために自主防災組織を設置していくことや、介護予防の観点から

新しいものができると、既存の賃貸住宅の経営が困難になることも予想されますが、対策についてはどうのように考えているかお聞きします。

おまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、少子高齢化や過疎化に対するさまざまな施策を展開しているところです。その中でも、観光振興の面では観光協会職員の採用、農業の面では担い手を育成する中で労働力を確保するなど、それぞれ本州からの定住をいただき、確実に推進しています。また、空き家店

答① 久保 弘志 町長

まち・ひと・しごと創生総合戦略に対するさまざまな施策を展開していくことや、役場内の横の連携を取りながら進めていきたいと思います。

新しくものができると、既存の賃貸住宅の経営が困難になることも予想されますが、対策についてはどうのように考えているかお聞きします。

本線の存続問題について

新しいものができると、既存の賃貸住宅の経営が困難になることも予想されますが、対策についてどうのように考えているかお聞きします。

議員がご心配するところ、既存の賃貸住宅の経営を圧迫してはならないと考えています。

また、居住される方は新しい居住を望む傾向にありますかと思いますが、民間賃貸住宅建設促進事業については、平成30年度

空き家対策計画の策定について

から3カ年に限り実施することとし、既存の賃貸住宅が空き住宅となりないよう、慎重に予算措置をしていきたいと考えていますので、ご理解いただきたいと思います。

空き家対策計画の策定について

問① 高橋 隆文 議員

12月定例町議会においても一般質問が出された経過がありますが、予定としては、6月定例町議会で空き家対策協議会条例を制定させていただき、全体的な空き家等を把握した上で空き

公共交通のあり方について

家対策計画の策定に向けて取り組むべきと考えています。また、対応していくにあたり、当然データベース化は必要と考えていますし、役場内の横の連携を取りながら進めていきたいと思います。

空き家対策計画の策定や実施体制の整備にあたり、どのような組織を設置するのか。また、空き家状況等をデータベース化し情報を共有すべきだと思いますが、これらをどのように考えているかお聞きします。

問① 高橋 隆文 議員

本年度、北海道大学公共政策大学院との連携により、本町の公共交通のあり方について町民アンケート調査を実施・検証をいただき、どのような対策が望ましいかご提言をいただくこととなっています。また、JR釧網

本線の存続問題について

本線の存続問題に加え、赤字路線である網走バス路線についても、網走市、斜里町及び網走バスとの協議を実施しているところです。

町外への交通手段も重要ですが、町内においても病院や買い物に不便を感じているという声はよくお聞きしていますので、これら結果を踏まえた中で、ある程度スピード感を持って本町の公共交通のあり方について検討していきたいと考えています。

答① 久保 弘志 町長

高齢化に伴い運転免許証の自主返納が進む中、生活に必要な通院や買い物など不便を感じる方が多くなるだろうと思われますが、どのような施策を想定されているかお聞きします。

観光振興について

本町の自然環境や景観などを活かしながらアウトドアアクティビティを提供し、ガイド養成を含め、通過型ではなく滞在型の事業に取り組んでいきたいと考えています。

そのような中、以前、日本ユースホステル協会の東京本社へ伺い、今後の考え方についてお聞きした経緯がありますが、建て替えも改修もできないとの回答があり、新たなものにすることは困難な状況と判断しています。しかし、民間事業者の方のお力を借りながら、なんとか宿泊施設を誘致したいと考えていますので、ユースホステルを運営する方とも意見交換をしながら取り進めていきたいと思います。

答① 久保 弘志 町長

多種多様な地域の魅力発信に取り組むためには、宿泊施設やガイドの養成が必要です。通過型ではなく滞在型のガイドの養成が必要です。通過型ではなく滞在型のガイドの養成が必要です。浜小清水のユースホステルの建て替えを協議すべきだと思いますが、どのように考えておられるかお聞きします。

観光振興について

本線の存続問題に加え、赤字路線である網走バス路線についても、網走市、斜里町及び網走バスとの協議を実施しているところです。

町外への交通手段も重要ですが、町内においても病院や買い物に不便を感じているという声はよくお聞きしていますので、これら結果を踏まえた中で、ある程度スピード感を持って本町の公共交通のあり方について検討していきたいと考えています。

答① 久保 弘志 町長

高齢化に伴い運転免許証の自主返納が進む中、生活に必要な通院や買い物など不便を感じる方が多くなるだろうと思われますが、どのような施策を想定されているかお聞きします。

本線の存続問題について

本町の自然環境や景観などを活かしながらアウトドアアクティビティを提供し、ガイド養成を含め、通過型ではなく滞在型の事業に取り組んでいきたいと考えています。

そのような中、以前、日本ユースホステル協会の東京本社へ伺い、今後の考え方についてお聞きした経緯がありますが、建て替えも改修もできないとの回答があり、新たなものにすることは困難な状況と判断しています。しかし、民間事業者の方のお力を借りながら、なんとか宿泊施設を誘致したいと考えていますので、ユースホステルを運営する方とも意見交換をしながら取り進めていきたいと思います。

答① 久保 弘志 町長

多種多様な地域の魅力発信に取り組むためには、宿泊施設やガイドの養成が必要です。通過型ではなく滞在型のガイドの養成が必要です。通過型ではなく滞在型のガイドの養成が必要です。浜小清水のユースホステルの建て替えを協議すべきだと思いますが、どのように考えておられるかお聞きします。



こしみず議会だより

答① 久保 弘志 町長

12月定例町議会においても一般質問が出された経過がありますが、予定としては、6月定例町議会で空き家対策協議会条例を制定させていただき、全体的な空き家等を把握した上で空き